

宮沢賢治研究会

イーハトーブ修学旅行 バスハイク

## 賢治の足跡 — 東京の今と昔 —

宮沢賢治研究会では、2か月に1回実施している例会が、本年8月で第300回を迎えました。その第300回例会記念行事として、東京の賢治の足跡を訪ねるバスハイクを計画しました。

宮沢賢治は、生涯で9回、東京を訪れており、東京での体験は、賢治の作品や人生に大きな影響を与えています。宮沢賢治研究会では、平成15年に大島、平成23年に上野・浅草の修学旅行を実施しましたが、それ以外の東京のゆかりの地を訪ねる旅行は、平成10年のバスハイク「賢治ゆかりの東京」以来で、20年ぶりとなります。

東京の賢治ゆかりの地は、賢治が訪れた頃とは情景が大きく変わっており、20年前のバスハイクのとくときと比べても、随分、様変わりしています。当時の建物が残っていたり、碑が建てられているような場所は少なく、ただのビルで、言われなければ賢治との関係など分からないような所も多くあります。しかし、そういう場所を訪れ、賢治が歩いた当時を偲びながら、賢治の足跡を確認し、語り伝えていくことも、意義のあることだと思っています。

是非、お誘いあわせの上ご参加ください。

1 日 時 平成30年10月7日(日) 日帰り

(1) 集合(予定): 10月7日(日) 9:00 池袋駅

(2) 解散(予定): 10月7日(日) 17:00 東京駅

\* 詳しい集合場所等は、後日、参加申込者にご連絡いたします。

\* 東京駅で解散した後、東京駅近辺での懇親会(参加費とは別料金)を予定しています。

2 主なコース(予定)

「目白台」(雲台館跡、東京大学附属病院分院(永楽病院)跡、日本女子大学(責善寮跡など))、「西ヶ原」(東京高等蚕糸学校跡、西ヶ原農事試験場跡)、「飛鳥山公園」で昼食、「麴町」(北辰館跡、イギリス大使館)、「神田」(ニコライ堂、金石舎跡、水晶堂跡、八幡館跡、万世橋の停車場跡等)「本郷」(稲垣方跡、文信社跡、樋口一葉生活井戸、坪内逍遙旧宅、石川啄木ゆかりの赤心館跡・喜之床跡等)

\* コースは、現在検討中ですので、若干変更となる場合がございます。

3 定 員 50名

4 参加費 3,000円/人(バス代等)

(昼食代は含まれておりません。恐縮ですが、各自で弁当等をご用意ください。)

(参加人数によっては、追徴となる場合がありますが、あらかじめご了承願います。)

(現地までの往復の交通費は、別途各自の負担となります。)

5 参加申込み方法

(1) FAX又はメール又は電話で、8月31日(金)までに、お申し込みください。

FAXの場合、裏面の「参加申込書」にご記入の上、送信してください。

メールの場合は、「参加申込書」の内容を記載してください。

(2) お問合せ先は、裏面をご覧ください。

宮沢賢治研究会

6 補足事項

- (1) お申込みは、FAX、電話、メールいずれでも結構です。メールの場合は、下記の申込書の内容を記載してください。
- (2) 参加費は、旅行当日に徴収しますので、当日、ご用意くださるようお願いいたします。
- (3) 当日は、歩きやすい服装でご参加ください。また、雨天決行ですので、天候によっては、雨具等もお持ちください。
- (4) お申込みをいただいた後、事前に資料を送付する予定ですが、場合によっては、当日配付となる可能性もございます。
- (5) その他、ご質問、ご要望等がありましたら、下記のお問合せ先までお願いいたします。

官沢賢治研究会

※ FAXでお申込みの方は、このA4の面をそのまま送信してください。

<h2 style="margin: 0;">申 込 書 (FAX用)</h2> <p style="margin: 10px 0;">官沢賢治研究会 イーハートープ修学旅行 バスハイク 賢治の足跡 — 東京の今と昔 — に申し込みます。</p>		
FAX送付先 047-368-1588 (村上) お問合せ先 045-941-9211 (山崎) 047-368-1588 (村上) メール murakami-eiichi@mub.biglobe.ne.jp (村上)		
ふりがな 氏 名	年代 歳 代	性別 (○をつけて下さい) 男 ・ 女
郵便番号 住 所		
連絡先		
電 話 ( )	FAX ・ 左に同じ ( )	
メール		
旅行終了後の懇親会に参加するかどうか、下記にマルを付けてください。 参 加 ・ 不参加		